

令和5年度 幹事会・分科会  
経過報告

## 経過報告

## (1) 幹事会

【目的】会の効率的な運営を図るため、必要な事項について検討する。

◇各分科会の検討内容の共有と具体的な取り組みに関する確認及び共有

※各分科会が立案した取り組みが本連絡会の役割と機能を果たせるよう、進捗等を確認するとともに、実施に向けて協力する。

※本連絡会の取り組みへの参加が、次代を担う職員の育成、全体のスキルアップにつながり、さらにそれらが社会福祉法人職員としての誇り（意識付け）に発展するよう意識した検討を進める。

◇事業計画・予算の検討

【支出】10,500円（会議費）

## 【活動実績】

回数	開催日	検討事項
1	令和5年5月9日(火) 午後4時～5時30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協議事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度(第8回)総会議案について</li> <li>・総会開催方法について</li> <li>・東京都地域公益活動推進協議会 令和5年度地域ネットワーク助成事業の申請について</li> </ul> </li> <li>○今後のスケジュール               <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度(第8回)総会開催日程について</li> </ul> </li> <li>○その他               <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回幹事会開催日程について</li> </ul> </li> </ul>
2	令和5年12月12日(火) 午後4時～5時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○確認・報告事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業の進捗状況について</li> </ul> </li> <li>○協議事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度事業計画・予算について</li> <li>・令和5年度(第9回)総会について</li> <li>・総会開催方法について</li> <li>・東京都地域公益活動推進協議会 令和6年度地域ネットワーク助成事業の申請について</li> <li>・東久留米市内社会福祉法人連絡会会費について</li> </ul> </li> <li>○今後のスケジュール               <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度(第9回)総会開催日程について</li> <li>・令和6年度(第10回)総会開催日程について</li> </ul> </li> <li>○その他</li> </ul>

		・次回幹事会開催日程について
3	令和6年2月13日(火) 午後4時～5時	○協議事項 ・令和5年度(第9回)総会議案について ・令和5年度地域ネットワーク事業実績報告書について

## (2) 分科会

### ○情報交換・交流

#### 【目的】

各法人間の良い出会いを通して、互いの強みを発見し、活かす方法を共有する場として、情報交換会を開催し、顔合わせ、情報交換・課題共有等を行い、職員間の交流を進める。

#### 【令和5年度事業目標】

2か月に1回、定期的に集まりを持ち、分科会内での情報交換とオンラインでの合同研修会の企画を行う。

#### 【成果】

定期的に分科会を開催することで、分科会内での情報交換や交流を図ることができた。それにより初めての職員研修会を企画・実施することができた。

#### 【課題】

様々な分野の法人を対象とするため、情報交換や職員研修のテーマの絞り込みが難しい。職員研修会の出席が少ないため、職員の参加について、各法人への理解を求めたい。

【支出】講師等謝金5,000円（職員研修）

#### 【活動実績】

回数	開催日	検討事項
1	令和5年4月19日(水) 午後2時10分 ～3時08分（総会内）	○情報交換・各団体からのお知らせ ○職員研修会(企画案)について ○分科会開催時の役割分担
2	令和5年6月21日(水) 午後2時05分 ～2時56分	○情報交換 ○職員研修会(テーマ確定・講師検討)について
3	令和5年8月16日(水) 午後2時05分 ～3時15分	○情報交換 ○職員研修会(講師選定・役割分担の決定)について

4	令和5年10月18日(水) 午後2時～2時49分	○情報交換 ○職員研修会、情報交換会(企画案検討)について ○分科会の開催方法の検討
5	令和5年12月20日(水) 午後2時～3時25分	○情報交換 ○職員研修会 1/25(役割分担など)について ○情報交換会 2/29(役割分担など)について ○令和6年度事業計画・予算について
6	令和6年2月21日(木) 午後2時～3時半 【中止】	○情報交換 ○職員研修会の振り返り ○情報交換会 2/29(役割分担など)について ○令和6年度事業計画・予算について
イベント 実施	令和6年1月25日(木) 午後1時半～3時	○職員研修「災害に強い福祉施設になるために ～BCPと応援職員派遣～」 講師 ・東京都社会福祉協議会 (東京都災害福祉広域ネットワーク担当) ・社会福祉法人調布市社会福祉事業団 調布市知的障害者援護施設なごみ 施設長 今宮 麗子さん 申込み数:22人 (12法人13事業所) 参加者数:21人 (15法人16事業所)
開催 予定	令和6年2月29日(木) 午前10時半 ～11時50分 【第9回総会内】	○情報交換会の実施 テーマ「職員の育成」

## ○広報

## 【目的】

幹事会・分科会で話し合われたことなどを中心に、有効な情報を連絡会内外に向けて効果的に情報発信する。

①効果的な情報発信について検討する。②取り組みを広く市民に知らせるための広報媒体を制作・管理する。

## 【令和5年度事業目標】

会員法人で働く職員やボランティア、利用者、その家族等に連絡会の意義・目的を浸透させることを目標に広報活動を行う。本連絡会の活動に参加して得た経験が自らの専門性を高め、所属する法人の地域における価値の上昇にもつながるということを理解するきっかけとなるような広報を目指す。

**【成果】**

分科会の活動が盛んになり紙面に掲載する内容が増えたことで、本連絡会の趣旨を伝える材料が増え、予定どおりに広報紙を発行できた。それについては成果といえるが、全体の目的を達成できたかという点と不足する部分もある。

**【課題】**

どのくらいの人目に触れているのかわからないため効果を測定できない→時期をみて、モニター募集やアンケートの実施を検討。

社会福祉法人連絡会らしい価値ある活動をどう見せていくか。内容をより充実させるにはどうしたらよいか。

**【支出】** 該当なし**【活動実績】**

回数	開催日	検討事項
1	令和5年 4月18日(火) 午後4時～5時	○広報第4号の発行について(掲載内容と発行日について) ○第5号・第6号の発行に向けて(掲載内容と発行日について) ○次回分科会開催日程と会場、議題について
2	令和5年 7月10日(月) 午後4時～5時	○前回の振り返り ○広報第5号について ○その他(次回分科会開催日程と会場、議題について)
3	令和5年 11月27日(月) 午後4時～5時	○前回の振り返り ○広報第6号について ○その他(次回分科会開催日程と会場、議題について)
広報紙の発行	令和5年5月31日発行	○『HAND IN HAND 04』発行 ・主な記事(総会の内容報告、情報交換・交流分科会主催イベントの報告、会員情報コーナー「上の原さくら保育園」、令和5年度事業計画)
広報紙の発行	令和5年9月6日発行	○『HAND IN HAND 05』発行 ・主な記事(会員法人による地域公益活動の実践報告、分科会発「事業検討分科会の試行的取り組み」、会員法人紹介コーナー「みどりの丘」、令和4年度事業報告・決算報告、役員人事(役員紹介)
発行予定	令和6年 3月 発行	○『HAND IN HAND 06』発行 ・主な記事(1/15 開催の職員研修報告、11/18 のフードドライブへの協力報告、会員法人紹介コーナー「パン工房モナモナ」、第9回総会報告)

○事業検討

【目的】

地域における連絡会の具体的な役割について検討する。

【令和5年度事業目標】

持続可能な「食」への取り組みについての課題を共有し、各法人のコンセンサスを得て事業の具体案を提示する。

【成果】

連絡会でフードドライブ事業を実施するにあたり、各法人の負担が過度にならないかの検証を進めるとともに、具体的な実施に向けた微調整を図ることで、次年度以降の具体的な進め方を取りまとめられる。

【課題】

フードドライブに関して、フードパントリー実施団体との顔合わせや実施の規模などについて調整を要する。

更に、新たな法人としての取り組みについて更なる協議を進める。

【支出】 該当なし

【活動実績】

回数	開催日	検討事項
1	令和5年 12月5日(火) 午後1時30分～3時	○フードドライブの事業化について ○その他

【参考】

## 東久留米市内社会福祉法人連絡会 3 分科会の 具体的活動内容について

### 【分科会の目的（3つの柱）】

本社会福祉法人連絡会の目的を達成するために

①互いを知る（出し合う）

→会員法人同士がそれぞれの目的や実施事業の具体的内容について知り合うこと。

②新たに見つける（集める）

→地域公益活動の推進に向けて、法人相互に協力し合える内容を見つけること。

③共に組み立てる（戻す）

→住民に広く還元できるような地域公益活動の具体的内容を組み立てること。

### 【分科会の達成目標】

- ◆会員法人同士が本分科会で互いの強みを発見し、ここで生まれた法人同士のつながり、あるいは参加職員一人ひとりのつながりを存分に活かした地域公益活動を組み立て、それらを実行し、広く地域社会に返すこと。

### 【分科会が対象とする職員像】

- ◆分科会の目的を達成するために、本来は現場の第一線で活躍している職員を主な対象とするのが理想的であるが、本来事業に影響が出ることが懸念される。そこで、当面は対象を施設長等の管理者レベルの職員とする。主な役割は、それぞれの分科会にて目標達成のために必要な活動を総合的に企画し、運営等について、必要に応じて自法人の職員派遣等にご協力をお願いしたい。

## 【参考】令和5年度 3分科会事業計画

### 情報交換・交流分科会

「合同研修会や情報交換会の実施 ～共通の課題に関する研修や情報交換会の企画～」

定期的に（2か月に1回）集まりを持ち、分科会内での情報交換とオンラインでの合同研修会の企画を行います。

今年度は、各法人の現場職員も交えての情報交換を企画します。

### 広報分科会

「広報紙の発行を通してお互いの理解が深まるよう活動します」

市内社会福祉法人連絡会の活動を地域の皆様や関係機関に知って頂けるよう、広報紙の発行を年3回行っています。

今年度は、法人連絡会での取り組みや研修会の様子をお知らせし、理解が深まるように活動していきます。また、毎号交代で、障がい・児童・高齢と3分野の法人をご紹介します、より身近に感じていただけるよう活動します。

### 事業検討分科会

「法人・施設の特性を活かした役割について検討 ～『食品ロスを防ぐ』取り組み～」

市内で取り組みが見られ始めた「食品ロスを防ぐ」活動に関連して、地域に点在する法人・施設の特性を活かした役割の検討を進めます。

各法人が可能な範囲でかつ多様な関わり手法で取り組みに参画することで連携し、次につながる活動に進化するよう工夫します。